

経営比較分析表（令和3年度決算）

岐阜県 八百津町

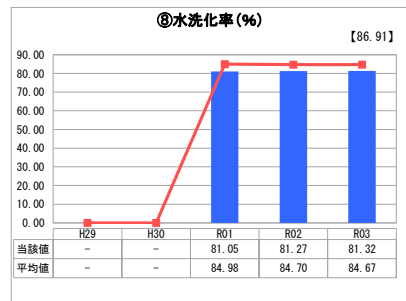
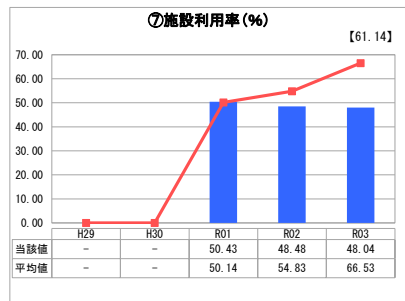
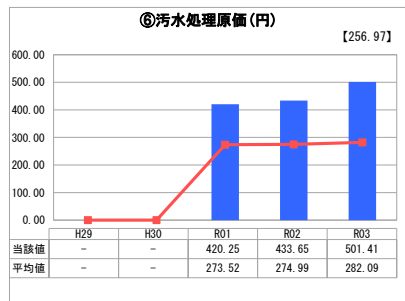
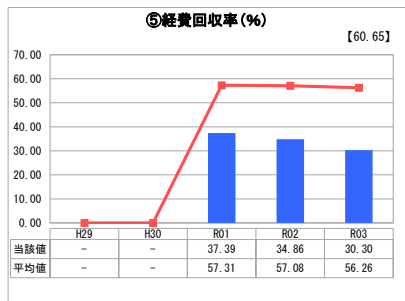
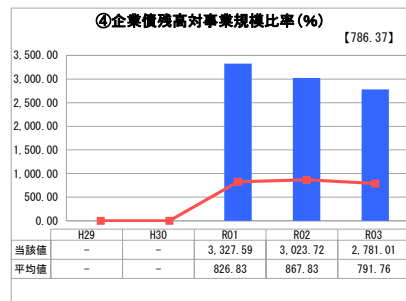
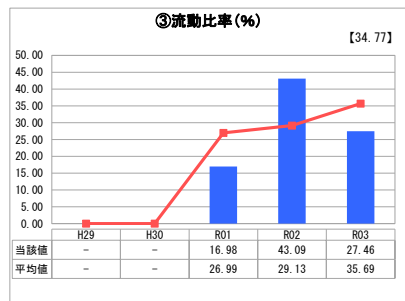
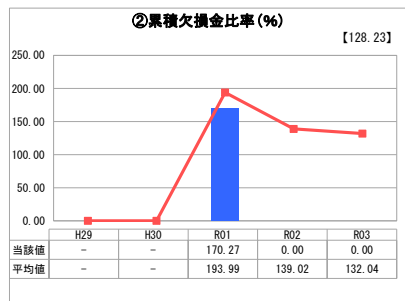
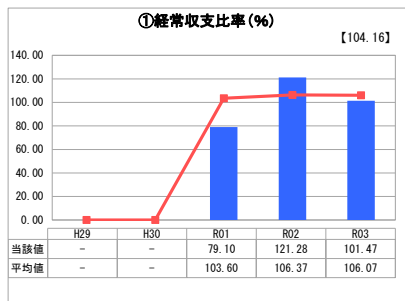
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	71.70	8.16	86.72	3,190

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,446	128.79	81.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
846	2.12	399.06

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支は赤字ではありますが、使用料で賄いきれない部分を一般会計からの繰入金で補っており、厳しい状況が続いております。公共下水道同様、引続き使用料収入の確保や経費削減に取り組んで努めます。

② 流動負債の中には浄化センター建設等の過去の企業債償還金が大半を占めており、先に挙げた通り収入の確保に努めます。

③ 類似団体平均より大きく上回っていますが、これは浄化センター建設等過去に借入を行った企業債であり近年は借入していないため、今後は減少していく見込みです。

④ ①の経常収支比率が100%を超えているのにも関わらず経費回収率が低い数値を示しているのは、人口減少に伴い使用料収入が減少し一般会計からの繰入に頼っているためです。使用料収入は今後も減少が予想されるため、下水道使用料と合わせて見直しや汚水処理費の削減に努めます。

⑤ 広大な処理区域を有するため効率的な運営が難しいのが現状ですが、本年はカメラ調査により不明水の流入調査を行いましたので、有収水量増加に向け計画的な修繕を進めています。

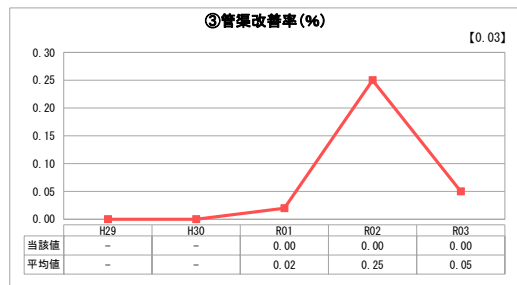
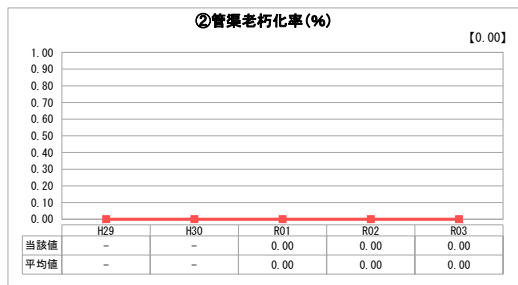
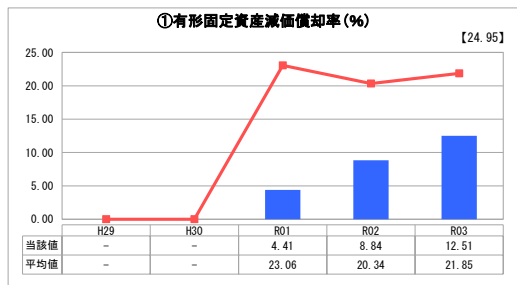
⑥ 人口減少や水洗化率の伸び悩みの影響を受けています。

⑦ 施設利用率同様、人口が減少していることや、計画区域外であるため新規接続が増えにくいのが現状です。引続き接続促進に努め水洗化率の向上を目指します。

2. 老朽化の状況について

平成11年度より供用を開始し、管渠については定期的に清掃を実施しており、不明水の流入がある箇所についても本年カメラ調査により把握し、計画的な修繕を進めております。マンホールポンプや浄化センターについても、本格的な老朽化対策時期には到来してはおりませんが、効率的な機能保持のため、今後も計画的な更新工事を実施していきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

本町では昨年同様に一般会計からの繰入金により運営出来ているのが現状です。また、今後、人口減少に伴い料金収入は減少していくことも予想されるため、事業を安定して継続させていくためにも、下水道使用料と合わせて使用料見直しも含めた収入の確保に努めると共に、一部区域については公共下水への接続を進め、経営成績や財政状況を正確に把握して経営戦略の見直しをし計画的な更新の実施を進めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。